

登録コード	A3309300	開講年度	2026				
授業科目	果樹園芸学				担当教員	大迫 祐太郎	
英文授業名	Pomology						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学生	3年生
講義室	農学部 2 6 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				果樹の分類や栽培, 開花, 果実発達などといった基礎的な内容を修得している.		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				果樹の分類や栽培, 開花, 果実発達などといった基礎的な内容を修得している.		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	永年性木本作物である果樹は、枝葉および目的とする果実の成長が同時並行で進行し、その栽培には長年にわたり高品質の果実の安定した生産が要求される。本講義では様々な果樹の種類・品種, 栽培適地, 繁殖と育種, 栽培管理, 果実発育・成熟生理, 収穫, 病虫害防除, 貯蔵・流通などの幅広い分野について学習する。						
(5)授業計画	第 1 回(2026/4/13): ガイダンス・果樹園芸学の特徴と最近の傾向 第 2 回(2026/4/20): 種類と品種 第 3 回(2026/4/27): 環境と果樹の生態 第 4 回(2026/5/1): 育種 第 5 回(2026/5/11): 繁殖 第 6 回(2026/5/18): 開園と植栽 第 7 回(2026/5/25): 花芽形成と結果習性 第 8 回(2026/6/1): 受精と結実 第 9 回(2026/6/8): 果実の発育 第 1 0 回(2026/6/15): 果実の成熟と収穫後生理 第 1 1 回(2026/6/22): 水分生理と土壌管理 第 1 2 回(2026/6/29): 樹体栄養と施肥 第 1 3 回(2026/7/6): 整枝・剪定 第 1 4 回(2026/7/13): 整理障害・病虫害 第 1 5 回(2026/7/27): まとめ・授業アンケート 期末試験(2026/8/3) 最後の講義(第15回)の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします						
(6)自主学習の指針	「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する」ため、必要な自主学習時間は次のようになります。週1回の授業で回の授業で2単位の授業(90時間の学修が必要)授業時間30時間(2時間×15回), 自習学時間60時間(4時間×15回) 自主学習では、配布資料・参考書を利用して下さい。 予習復習などの授業時間外学習により、講義の理解に努めて下さい。						
(7)成績評価の基準	成績の評価基準は、 秀: 授業の達成目標水準から見て卓越しいる(授業で示した例題からは難しい応用問題が解ける) 優: 授業の達成目標水準よりかなり上にある(やや難しい応用問題が解ける) 良: 授業の達成目標水準よりやや上にある(応用問題が解ける) 可: 授業の達成目標水準にある(例題と同レベルの問題が解ける) 不可(D): 授業の達成目標水準よりやや下にある 不可(F): 授業の達成目標水準にない によりそれぞれ評価する						
(8)事前事後学習の内容	eALPS上で講義資料を配布しますので、事前・事後に確認を行ってください また下記【参考書】を参考とした書籍での予習復習も重要です						
(9)テストやレポートの予定	中間レポート課題(30点)および期末試験の成績(70点)により成績の評価を行います なお、中間レポートに関しては講義中に指示します 期末試験は授業計画1~15回までの範囲から出題します						
(10)成績評価の方法	期末試験と中間レポート, 小レポートにて、評価する。 成績の評価基準は、 不可(0-59), 可(60-69), 良(70-79), 優(80-89), 秀(90-100)とする						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時質問・相談に対応します 質問・相談がある場合には、事前に下記へ連絡してください 主担当(大迫): yosako@shinshu-u.ac.jp (アットマークを半角にしてください)						

(12)履修上の注意	植物に関する高校生物レベルの事柄は前提知識として講義を行います
【教科書】	下記，【参考書】を確認
【参考書】	本講義は以下の文献を参考に行います． 果樹園芸学（米森敬三 編，朝倉書店） 果樹園芸学（金浜耕基 編，文栄堂） 果樹園芸学の基礎（伴野潔・山田寿・平智 著，農文協） 果樹栽培の基礎（杉浦明 編著，農文協） 園芸学 用語集・作物名編（園芸学会 編，養賢堂） このうち，特に『果樹園芸学（米森敬三 編，朝倉書店）』をベースとします 現在のところ購入の強制はしていませんが，教科書としての購入を考える際は『果樹園芸学（米森敬三 編，朝倉書店）』をお勧めします なお，文献については，第１回の講義中でもお伝えします